韮 農 第 ２８５号
令和６年９月２６日

各地区長　殿
各 組 長　殿

韮崎市長　内藤　久夫
（公印省略）

野焼きについての啓発用チラシの回覧について（お願い）

平素より、農林業行政にご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、この度山梨県と共同し、別紙のとおり稲わらや剪定枝の利活用や野焼きを行う際の注意点等についての啓発用チラシを作成しました。
一人一人が意識を持ち、環境や周囲の方へ配慮した持続的な取り組みを行うことができますよう、貴地区の各組単位での回覧についてご協力をいただけますようお願い致します。

記

同封文書　　野焼きについての啓発用チラシ
表面「農業者のみなさまへ　野焼きをする前にご一読ください」
裏面「山梨県における4パーミル・イニシアチブの取り組み」

お問い合せ先
韮崎市 農政課 農林振興担当
℡0551-45-9104（直通）

山梨県における４パーミル・イニシアチブの取り組み

果樹園の土壌に炭素を貯留することで二酸化炭素の濃度を低減する「４パーミル・イニシアチブ」の取り組みにより、温暖化の抑制に寄与するとともに「環境に配慮した農産物」として新たにブランド化し、付加価値を向上させましょう！！

４パーミル･イニシアチブとは

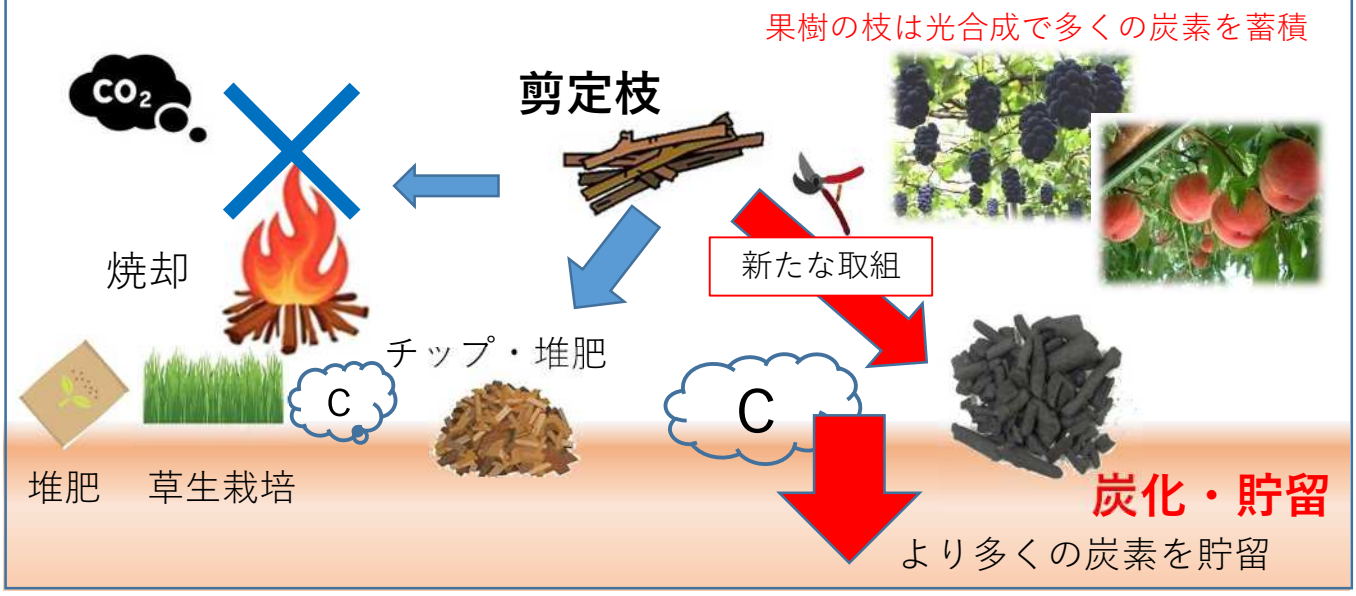
土壌（30～40㎝）の炭素量を毎年０.４％（４‰）増やすことができれば、大気中のCO_2の増加分を相殺し、温暖化を抑制できるという考え方に基づく国際的な取り組みです。

○ 2015年12月のＣＯＰ２１でフランス政府が提案し、2021年４月現在、日本国を含む６２３の国や国際機関が参画

○ 山梨県は日本の都道府県ではじめて参加し、さらにこの取り組みを全国に拡大して温暖化の抑制に貢献するため、2021年２月に本県が提案して全国協議会を設立

（具体例）果樹園における４パーミル・イニシアチブ

果樹園内で剪定枝を炭化・貯留して温暖化の抑制を目指します



○ 堆肥や草生栽培によっても炭素を貯留できます

○ 炭は分解されにくいため、より多くの炭素を長期間、土壌中に貯留できます

主な支援制度

●やまなし未来創造農業推進事業

無煙炭化器など、４‰イニシアチブへの取組に必要な経費を助成

●環境保全型農業直接支払交付金

化学農薬・肥料の削減に加え、環境保全に効果の高い取組を支援

●やまなし4ﾊﾟｰﾐﾙ・ｲﾆｼｱﾁﾌﾞ農産物等認証制度

脱炭素社会の実現に貢献する農産物として認証。

これまでは果樹のみでしたが野菜・水稲へ拡大しました。

県認証制度のロゴマーク

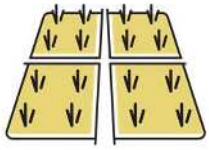
YAMANASHI
4 per 1000
INITIATIVE

お問い合わせ先

韮崎市役所 農政課 農林振興担当　TEL:0551-45-9104（担当直通）

中北農務事務所 農業農村支援課 生産振興担当　TEL:0551-23-3310

農業者のみなさまへ



～野焼きをする前にご一読ください～

◇ 環境に配慮した活用方法を検討しましょう ◇

〇水稲収穫後の稲わらは、細断し水田全体に広げ、ロータリーで土とよく混ぜる。
〇果樹の剪定枝は、チップ状に細断し、堆肥化させたものを溝や穴に埋め戻す。
　または、無煙炭化機を用いてバイオ炭を作り土に戻す。
このような野焼きによる焼却以外にも、土に戻し肥料養分にするという方法があります。
こういった方法は『4パーミル・イニシアチブの取り組み』として、農業分野から地球温暖化の抑制に寄与できるとする取り組みです。
※ 4パーミル・イニシアチブについては裏面参照

◇ 野焼きを行うときは周囲への配慮をお願いします ◇

　農業を営む上でやむを得ず行う野焼きは例外的に認められていますが、大量の煙が発生し、「洗濯物に臭いやススが付き困っている」「窓を開けて換気をすることができない」という声が寄せられています。

　野焼きを行う際は、次の点に注意し、周囲の方への配慮をお願いします。

〇煙の量や臭いが近所の迷惑にならない程度の少量にとどめる。
〇草木はよく乾かし、煙の発生量を抑える。
〇風の向きや強さを考慮する。
〇夜間は実施しないなど、時間帯を考慮する。

◇ 火災が起こらないよう十分注意しましょう◇

　延焼に注意し、野焼きを行った場所をしっかり管理してください。
　また、野焼きをする場合は消防署に「火災とまぎらわしい煙又は火炎を発するおそれのある行為」の届出が必要です。

〇野焼きする場所の周囲の草を事前に刈り取るなど、延焼に注意する。
〇すぐに消し止められるよう、近くに水を準備し、目を離さない。

韮崎市役所　農政課　農林振興担当
TEL：0551-45-9104（担当直通）